

日本スポーツ少年団創設50周年記念事業
東日本大震災復興支援「とどけよう スポーツの力を東北へ！」
第41回東北地区サッカースポーツ少年団交流大会
兼 第32回東北ブロックスポーツ少年団サッカー交流大会
開 催 要 項

- 1 趣 旨 東北各県のサッカースポーツ少年団が一同に会して、日頃の活動成果を発揮し、団員の体力と技術の向上を図るとともに、スポーツ少年団の交歓、交流を行う。
 - 2 主 催 公益財団法人日本体育協会日本スポーツ少年団 東北サッカー協会
東北ブロックスポーツ少年団連絡協議会
公益財団法人山形県体育協会山形県スポーツ少年団本部
 - 3 後 援 山形県教育委員会、(株)モルテン、仙台コカ・コーラボトリング(株)
 - 4 協 賛 (株)メモリーアート
 - 5 主 管 NPO法人山形県サッカー協会、山形県サッカー協会4種委員会
 - 6 期 日 平成24年7月28日(土)～30日(月) 7月27日(金)は監督者会議
 - 7 会 場 山形県総合運動公園サッカー場・ラグビー場 4面
 - 8 参加資格 (1) 大会実施年度に公益財団法人日本サッカー協会第4種及び日本スポーツ少年団に加盟登録した団体(チーム)であること。
(2) 上記のチームに所属する選手であり、公益財団法人日本サッカー協会発行の登録選手証(写真貼付)を有し、且つスポーツ少年団登録済みのもの。
(3) 参加チームは必ずスポーツ安全保険に加入していること。
- 9 参加チーム及びその数
各県3チーム及び開催県推薦2チームの合計20チーム。
(1) 第36回全日本サッカー大会各県予選の第2位、第3位、第4位のチームを原則とする。
(2) チーム構成は、選手16名以内、引率指導者3名以内とする。
(3) 引率指導者は、当該チームを掌握指導する責任ある指導者であり、内1名以上は公益財団法人日本サッカー協会公認コーチ資格(D級以上)及び内1名は、スポーツ少年団の指導者資格(認定員又は認定育成員)を有すること。
(4) 参加選手は健康であり、且つ保護者の同意を得ること。
(5) 参加チームは単位スポーツ少年団として、登録された名称を用いること。
- 10 競技方法
(1) 20チームを4グループに分け1次ラウンド(1グループ5チームのリーグ戦)を行い、さらに各グループ同順位同士による2次ラウンド(決勝及び順位決定トーナメント)を行う。
(2) 1次ラウンドにおける順位決定の決定方法は、勝利3点、引分1点、敗戦0点の勝点により、勝点の多い順に決定する。なお、勝点の合計が同一の場合は以下の項目に従い順位を決定する。
① 全試合の得失点差(総得点―総失点)
② 全試合の総得点
③ 当該チーム同士の対戦成績(勝敗)
④ ①～③の全項目にあいて同一の場合には、当該チーム同士によるPK方式により決定する。
(3) 試合時間は40分(20分ハーフ)とし、ハーフタイムのインターバルは5分と

する。規定の競技時間に勝敗が決しない場合は、1次ラウンドにおいては引分けとする。2次ラウンドにおいてはPK方式により次回戦への進出チームを決定する。ただし、優勝決定戦は10分（5分ハーフ）の延長戦を行い、勝敗が決しない場合はPK方式により優勝チームを決定する。なお、延長戦に入る前のインターバルは5分、PK方式に入るまでのインターバルは1分とする。

1 1 競技規定 大会実施年度の公益財団法人日本サッカー協会競技規則による。ただし、以下の項目については特に本大会用として規則を定める。

公益財団法人日本サッカー協会「8人制サッカー規則の審判法」の「8人制サッカー規則」による。但し本要項に定められている事項が優先される。

- (1) 交代要員は、自由な交代を適応する（一度退いた競技者も再び出場でき、何回でも交代可能とする）
- (2) 本大会において退場を命じられた競技者は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については本大会規律フェアプレー委員会で決定する。
- (3) 本大会において警告を2回受けた競技者は、次の1試合に出場できない。なお、1次ラウンドにおける警告は、2次ラウンドには持ち越さないものとする。ただし、1次ラウンドにおける出場停止処分が抹消の場合は、2次ラウンドに持ち越して処分を適応する。
- (4) ベンチに入ることができる人数は、8名、指導者3名以内とする。
- (5) テクニカルエリアを設置する。戦術的指示は、テクニカルエリア内からその都度1名の指導者に限り伝える事ができる。
- (6) 審判は、一人で実施し、予備審を置くことができる、審判は参加チームの帯同で行う
- (7) ロスタイム表示については、決勝トーナメントのみ実施する。
- (8) 負傷した競技者の負傷の程度を確かめるために入場を許可される指導者の数は2名以内とする。
- (9) 暑熱下において、前・後半の中程で飲水タイムを採用する。飲水タイムの有無を前・後半開始前に両チームに通告する。
- (10) 本大会に参加する競技者は、公益財団法人日本サッカー協会が発行した登録選手証（写真が貼付されたもの）を持参すること。不携帯の競技者は、当該試合への出場を認めない。
- (11) 本大会に参加する指導者のうち、公益財団法人日本サッカー協会公認コーチ資格（D級以上）所有者は、公認指導者ライセンス認定証を持参すること。
- (12) ピッチサイズ：縦68m、横50m
 - ペナルティエリア：ゴールライン上、ゴールポスト外側に12m。その地点からゴールラインに直角12m
 - ゴールエリア：ゴールライン上、ゴールポスト外側に4m。その地点からゴールラインに直角4m
 - センターサークル：半径7m
 - ペナルティマーク：8m
 - ペナルティーク：半径7mの半円弧
 - フリーキックのときの壁の距離：7m
 - ゴール：ゴールの内のり 縦2.15m 横5m

1 2 ユニフォーム (1) ユニフォームは参加申込時に登録したユニフォームを着用すること。ただし、チームのユニフォーム（ゴールキーパーのユニフォームを含む）のうちシャツの色彩は、

審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものではない。また、チームは試合会場に正・副2組のユニフォームを持参しなければならない。

プレーヤーとゴールキーパーの両方を経験する重要性に鑑み、主催者の指示があるときは指定のシャツまたはビブスを着用しなければならない。

(2) ユニフォームへの広告表示については、公益財団法人日本サッカー協会「ユニフォーム規定」に基づき、平成23年7月5日までに承認された場合にのみこれを認める。

(3) その他の事項については公益財団法人日本サッカー協会「ユニフォーム規定」に則る。

- 13 組合せ 大会事務局が、各県の成績を参考に別途1次ラウンド組合わせを作成する。
- 14 監督会議 日時：平成24年7月27日（金）18時
会場：天童ホテル
※監督会議終了後、同会場にて懇親会を開催します。各チーム2名以上の出席をお願いします。（会費1名5,000円）
- 15 表彰 優勝、準優勝、第3位の各チームに、賞状・トロフィー・メダルを授与する。
第4位及び順位決定トーナメント各1位チームに賞状・トロフィーを授与する。
本大会の上位2チームは、12月に開催される、清水チャンピオン大会（清水市長杯）に東北代表として出場権をあたえる。
- 16 参加申込 申込書は2部作成し、7月5日（木）までに各県スポーツ少年団本部に提出し、そこから開催県スポーツ少年団本部宛送付すること。
申込先 〒990-2412 山形市松山二丁目11-30
公益財団法人山形県体育協会山形県スポーツ少年団本部 宛
※平成24年度スポーツ少年団登録用紙（写）を必ず添付のこと。（出場者をマークする）
宿泊手配の関係上期日厳守でお願いします。
1部をプログラム作成用としてメールにて下記に送付すること。
山形地区4種委員会 メールアドレス ya4shu2005@kdr.biglobe.ne.jp
電話での問い合わせ 山形県4種委員会事務局 吉田 浩昭 090-7063-0938
- 17 参加料 1チーム 10,000円 監督会議の際にお支払い下さい。
- 18 宿泊及び弁当 （参加チームは、大会指定宿泊先をお願いします。）
参加チームは、別紙宿泊申込書に記載されている宛先まで必要事項をみれなく記入のうえ申し込んでください。
宿泊料金 1泊2食付 6,500円（子供）7,500円（大人）※消費税別
弁当代 700円
- 19 開閉会式及び交流会
開会式：平成24年7月28日（土） 9：30～ 山形県総合運動公園サッカー場
交流会：実施しない。
閉会式：平成24年7月30日（月） 14：00～ 山形県総合運動公園サッカー場
選手はユニフォーム着用のうえ団旗を持って集合のこと。
- 20 負傷等に対するの応急措置と災害発生に対する措置について
(1) 大会中の怪我等については、大会本部で応急手当を行います。その後近隣病院を紹介します。（救急車が必要な場合は、大会本部にご連絡下さい）
(2) 各チームにおいて熱中症予防に努めてください。
(3) 災害発生した場合は、各会場の災害対応マニュアルに従い避難すること。

- 21 その他
- (1) 大会規定に違反し、その他不都合な行為のあった時は、そのチームの出場を停止する。
 - (2) 本大会要項に記載されていない事項については、大会実行委員会において協議の上決定する。
 - (3) 試合会場での治療は応急処置のみとなります。
 - (4) チーム受付は7月27日（金）17時から、14監督会議が行われる会場で行います。
 - (5) 本事業は公益財団法人スポーツ安全協会の助成を受けています。